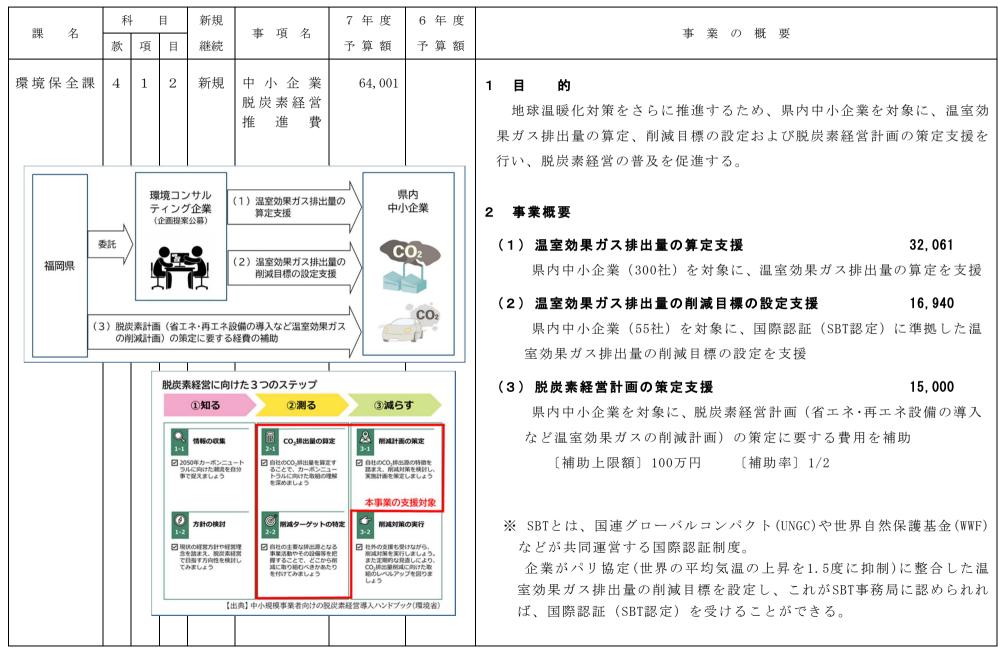
# 令和7年度当初予算の概要

環境部

# 令和7年度当初予算(案)の概要

#### 1 一般会計

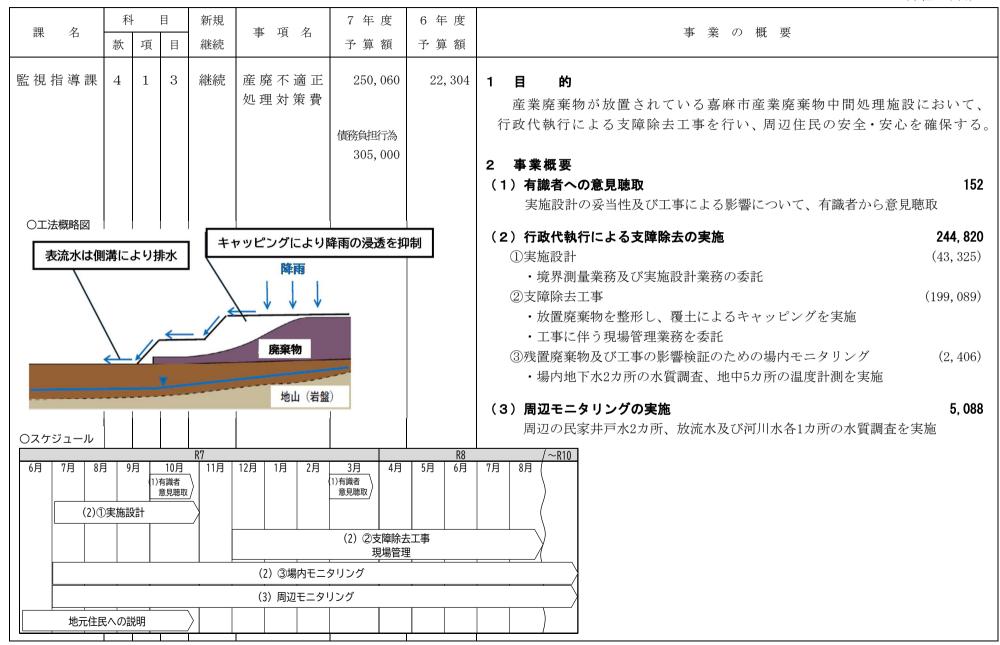
		令和7年度 当初予算額	令和6年度	増減額	A/B	7 年	度 の	財 源	内 訳	
款(項)名	目 名	当初予算額	当初予算額	垣似領	A/ D	特	定 財	源	一般財源	備考
		(A)	(B)	(A) - (B)	(%)	国支出金	地方債	その他	川文於1708	
	1目 環境総務費	1, 900, 527	1, 846, 938	53, 589	102. 9	148, 740	0	309, 485	1, 442, 302	
4 款	2目 環境保全費	803, 781	716, 064	87, 717	112. 2	16, 336	505, 600	3, 993	277, 852	
環境費	3目 廃棄物対策費	1, 092, 757	834, 440	258, 317	131. 0	9, 739	461, 700	193, 178	428, 140	
	4目自然環境費	495, 574	339, 781	155, 793	145. 9	72, 552	265, 500	25, 562	131, 960	
計		4, 292, 639	3, 737, 223	555, 416	114. 9	247, 367	1, 232, 800	532, 218	2, 280, 254	

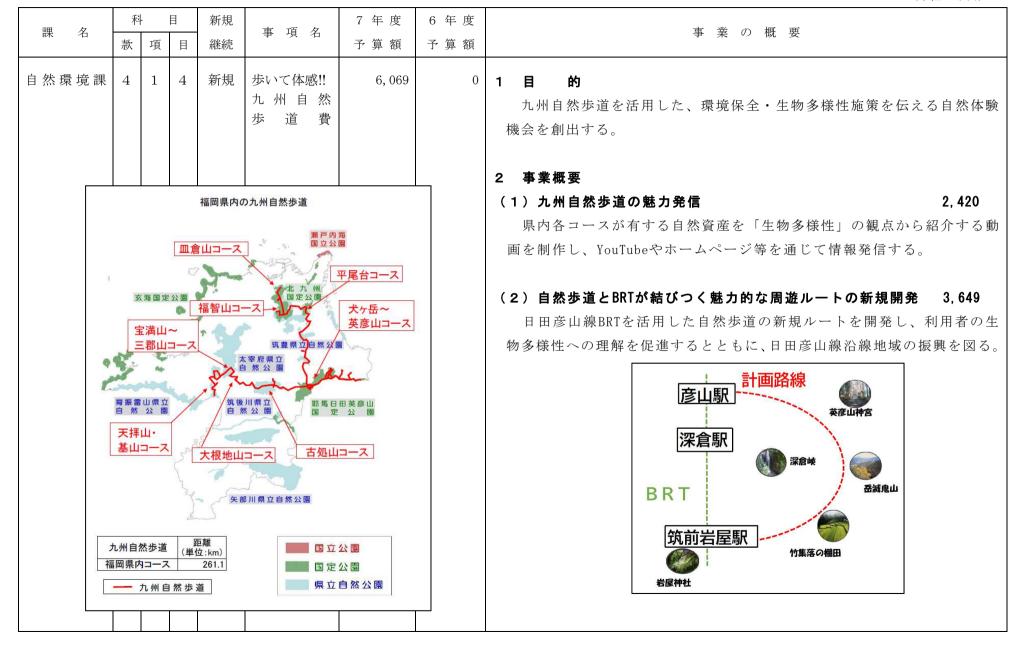


<b>=</b> 1		禾	<b>斗</b>	目	新規	* * * * *	7 年 度	6 年 度	# W 0 MI ##
部	名 名	款	項	目	継続	事 項 名	予 算 額	予 算 額	事業の概要
循 <sup>货</sup>	型 社 <i>会</i> 進		1	1	新規	使用済EV バッテリー 資源循環推進費	20, 465	0	1 目 的 国内での使用済EVバッテリーの資源循環に向けて、中古EV市場の活性化によるバッテリーの安定回収を推進するとともに、リユース蓄電池市場といった新たな産業を創出していくことで、EVバッテリーの資源循環モデル「福岡モデル」を構築する。
									2 事業概要 (1)中古EVリースの利用推進によるバッテリーの安定回収 13,141 中古EVをリース形式で利用希望者へ貸与し、バッテリー性能の変化 や経済性など中古EVリース事業化の可能性を検証することで、中古 EVの利用を推進するとともに、バッテリーの安定回収モデルを構築する。
					冨岡モデル	の目指す姿			
	999 999	・EVの ・バッテ 全な ・リサイ・ レアメ・ グリー	タルから ンバッラ 製造、E	な収集の安	全 グリ EVバッ 製造拠点	診断・残存 じた コーン パデリー とに向けた Eデル	ストな f f f f能力に応 :多様なリ		(2) リユース蓄電池の導入推進・県内企業の参入促進 7,324
		バッ	テリー	製造		リサイク	7ル技術		①リユース蓄電池の導入推進に向けた調査 (6,606) ②リユース蓄電池市場への参入促進セミナーの開催 (718)

									(単位:十円)
課	名	款	項	目目	新規継続	事 項 名	7 年 度 予 算 額	6 年 度 予 算 額	事業の概要
.,,	型社会 課	4	1	1	新規	プラスチック Re:born プロジェクト費	8, 411	0	1 目 的 県内から排出される様々な使用済プラスチックをリサイクルし、再生プラスチックを必要としている事業者が活用することにより、環境と経済の両立に向けプラスチックの資源循環を目指す。
【全体 R7	スケジ ○ コンサ ・ 再生	ナルタン	小会社		ノーズ調査	○ 福岡県リザイクル ・共同研究 ・環境性評(	チームの発足支援		2 事業概要 (1)製造業(自動車、電気・電子機器等)における再生プラスチックのニーズ及び 県内の使用済プラスチックの排出量等のシーズ調査 5,361 [対象]再生プラスチック使用が想定される製造業者、県内の使用済プラスチック排出者 [調査内容]製造業者:使用想定部品、求めるプラスチックの種類・組成、要求品質、再生 プラスチック使用の障壁
R8		は・保管	から再 るプラ 保管	生プラ	製品製造まクの資源循	での課題(品質・コス 環スキームを研究開発 使用済みプラの安定		討	排出者:排出場所、排出量、使用済プラスチックの種類、組成、混入物の除去の容易さ(2)品質要件に応じた再生プラスチック製品製造に係るスキームの構築の支援 3,050 再生プラスチック利用に関する実証、研究開発の支援(リ総研に委託) [支援先]共同研究チーム(2チーム)
R9	混	合・ペ製品調	評価環境性	化	R9:	・ペレット化におけ ・製品試作、品質研 ・採算性等評価		検討	(排出者、運搬業者、再生業者、成型メーカ、大学等で構成。オブザーバ:自動車メーカ等) [研究内容]・使用済プラスチックの効率的かつ異物混入を防ぐ回収方法の検討 ・回収したプラスチックの分別・洗浄・破砕方法の検討、ペレット樹脂の試作 ・再生プラスチック使用製品の試作・品質評価、事業採算性・環境性評価
R10~	〇 福岡県 共同品					R7~R9の研究成の意向がある事業者を		<b>皮及</b>	

課名     科目     新規     事項名     7年度     6年度       款項目     継続     事項名     予算額	要
款   項   目   継続   予 算 額   予 算 額	
11	
循環型社会 4 1 1 1 新規 持って帰っていたと (eat) ボックスによる食品ロス削 減 費 1,632 1 目 的 国が令和6年12月に策定した「食べ残え、モデル店舗で持ち帰りボックスの利進する。 2 事業概要 持ち帰りボックスの導入を拡大し、飲食品ロスを削減 モデル店舗と関いの店舗/年×3年間 計3 [実 施 期 間 10月~12月の3カ月間 (食品ロス削減月間 (10月)~ 持ち帰りボックスの4	度店・ホテル等における 1,632 「舗の食品ロス・廃棄物処理費削減効」等を検証。 の店舗 忘年会シーズン(12月))





F								(年位:1日)
課名	彩	科目		新規	事項名	7 年 度	6 年 度	事業の概要
1/1 /1	款 項 目 継続		<b>事</b> 发 石	予 算 額	予 算 額	ず 未 V2 1ML 女		
自然環境課	4	1	4	継続	ワンヘルス体 験学習・研究 ゾーン整備費	204, 046	32, 783	1 目 的 ワンヘルスセンターの中核施設である保健環境研究所の附属施設として、生物多様性の保全の観点から国内初となるワンヘルス教育の屋外学習と、生物多様性保全に関する屋外研究を行う場の整備を実施する。
								2 事業概要 屋外ワンヘルス体験学習・研究ゾーンの整備 204,046 ・専門家会議の意見を踏まえた実施設計を基に、令和9年度まで計画的に施設を整備 ・令和7年度は、敷地造成工、掘削工、擁壁工、植栽基盤工、雨水排水工等を 実施
					」 ロンヘルスセンタ	ーのイメージ		屋外ワンヘルス体験学習・研究ゾーンのイメージ